

## 令和5年度 経営発達支援計画（結果概要）

当所は、令和2年度から5年間の計画に基づき小規模事業者が持続的に事業を発展させるために需要の動向や自らの強み等を分析し、新たな需要を獲得するために商工会議所がこれまで行ってきた経営改善普及事業に、小規模事業者の経営の発達に資する支援を実施した。

令和5年度は、小樽市経済動向調査や市内空き店舗調査を実施したほか、小規模事業者の経営状況の把握や分析を行い、持続的な経営に向けた販路拡大や生産性向上のため小規模事業者持続化補助金等の活用による申請支援を行った。

さらに、伴走型補助金を活用して小規模事業者5者に対し「商品開発・改良支援事業」として、新たな販路・売上拡大を目指し、商品開発や改良、パッケージデザインの検討、SNSなどの有効なITを活用した情報発信等の習得のため、専門家派遣を実施し、経営力の向上を図った他、経営指導員等研修会への参加を通じて職員の資質向上を図った。

### 今年度事業の主な結果概要

#### 1. 商品開発・改良支援事業の実施（伴走型補助金）

(1)商品開発や改良、パッケージデザインの検討方法及びITを活用した販促手法の習得に係る専門家派遣（支援先小規模事業者：製造業1者、小売業4者、延べ14回）

#### 2. 小樽市経済動向調査の実施 四半期毎 調査対象事業者 268者

#### 3. 市内空き店舗調査の実施

・毎月 中心商店街（7箇所）、3カ月毎 商店街（16箇所）・市場（6箇所）

#### 4. 小規模事業者持続化補助金の申請支援 36者

#### 5. 経営指導員等研修会への参加 2名（伴走型補助金）

#### 6. 評価委員会の開催（5月9日、3月21日）

### 事業の成果・評価・見直しについて委員からの主な意見

・中小企業が抱えている課題に対し、中期的に伴走支援ができる非常に良い取り組みである。次年度もこの取り組みが継続されるようであれば、経営課題の解決は重要と認識しており、今後は情報共有しながら窓口対応をしたいと考えている。

・商品開発・改良支援に係る専門家派遣の支援先は、融資先や小規模事業者持続化補助金申

請に係る支援先である。

- ・支援先の中で新商品開発のアンケート調査を実施しているが、支援内容などは評価できるが、アンケート結果が非常に厳しい。
- ・支援事業は単年度で終了するのか、継続案件として続くのか。単年度事業で終了するならもったいないような気がする。
- ・専門家の2名は昨年と同じであるが、同じ専門家が同じような支援をした場合、同じような支援内容になってしまうような気がする。派遣する専門家の多様性も必要ではないか。
- ・商品開発・改良支援は、飲食に限定する必要はないのではないか。
- ・支援先の中に小樽市創業補助金を利用している先があるが、支援事業の目的ではないが、経営状態はどのような感じなのか。
- ・支援事業を実施する際に、支援先に新商品開発時に発生する材料費など、費用負担が課題である。
- ・支援先の販路拡大が重要であり、小規模事業者の経営課題には柔軟に対応していただきたい。